

三沢地区の住民が管理する島根県出雲町の「三沢小水力発電所」(昭和32年稼働)。砂防堰堤から取水した水は、ヘッドタンク(右ページ写真)から落差15.7mの水圧鉄管を通して、毎秒750ℓの流量で発電所内の水車に流れ込み、90キロワットの電気を起こす(28ページ) 写真=高木あつ子

本当はすごい 農家・農村力 発電

山や川、個性豊かな地形を生かした
農家・集落・農協・土地改良区・自治体による
庭先発電、用水路発電、堰堤発電、棚田発電……
わが家・わが地域は、知られざる“エネルギー”の宝庫。

特集
いまこそ農村力発電

